鹿児島県立鶴丸高等学校広報紙

第33号　H20．6．30

好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴信

鹿児島県立鶴丸高等学校
〒890-8502　鹿児島市薬師二丁目1番1号
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

三月過ぎて思うこと

教頭　岡留　秀一

鶴丸高校に赴任し、三月が過ぎる。これまで幾度となく鶴丸高校を訪問していたが、改めて鶴丸生は良く「挨拶」をすると思っている。

「挨拶」という言葉を辞書で引くと、「人と人が出会った時や、別れる時に交わす儀礼的な動作や言葉。相手に敬意・親愛の意を示す行為で、対人関係を円満にし、社会生活を円滑にする」と説明されている。

昔は、挨拶を「言葉かけ」と言い、他人と外で出会ったり、すれ違ったりした際に言葉を掛けるのが一般的な礼儀であったようだ。

鎌倉時代、北条重時が子孫への教訓として記した「極楽寺殿御消息」にも、「丁寧な挨拶の人にはより丁寧な挨拶を返しなさい。（後略）」や「（前略）顔を背けて通らないで、近づき挨拶して通りなさい。挨拶して損はありません。（後略）」など、挨拶の大切さが示されている。そして、その教訓は、江戸時代まで日本人の道徳意識に影響を与えたという。

また、「挨拶」という言葉は、もともと禅宗で使われていた言葉でもある。禅の修行者が問答を交わして相手の悟りの深浅を試みることを「一挨一拶」と言い、ここから一般に問答や返答の言葉などを挨拶と言うようになった。つまり挨拶のその声に、姿勢に、表情にその人の人間性が表れるということである。だから、よい人間関係を築く上でも、また、魅力ある人になる上でも、感じのよい挨拶は欠かすことが出来ないものであると言える。

ところで挨拶は、目の前にいる人に行うものと考えがちであるが、それ以上にもっと深い意味が込められた挨拶もある。その一つが、授業の始業と終業時の挨拶である。「起立、礼」は教室にいる教師と生徒だけでなく、学問の発展に命と生涯を捧げた先人たちに対する感謝と尊敬の気持ちを表す意味が含まれているのである。

携帯電話の普及に伴い、コミュニケーション手段が、「ことば」から「メール」に変わって来ている。

私たちの生活は、周囲の人々や先人の努力など、多くの恩恵によって支えられている。その感謝の気持ちを最も簡単に伝える手段が、挨拶という「ことば」であろう。

最澄は「山家学生式」の中で、「径寸十枚これ国宝に非ず　一隅を照らすこれ即ち国宝なり」（お金や財宝は国の宝ではなく、家庭や職場など、自分自身が置かれたその場所で精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、国の宝である）と説いている。

鶴丸生の挨拶を聞く度、この生徒は鶴丸高校で一隅を照らしていると思う毎日である。

前期クラスマッチ

六月十二日（木）の午後と、十三日（金）の終日を使って、前期クラスマッチが行われた。種目はバレーボール、ドッヂボール、サッカー、バスケットボール、卓球の五種目が実施された。当日は、前日まで降り続いた雨の影響でグラウンドの状況は良くなかったが、部活動生と生徒会が中心となってグラウンドを整備してくれたお陰で、無事予定通り開催することが出来た。一年生にとっては初めてのクラスマッチ。勝利を合い言葉に照れながらも一致団結する姿はとても新鮮であった。二年生にとっては、三回目のクラスマッチであり、昨年度に比べると、要領も良くわかっていてクラスでお揃いのタオルなどを作って応援している姿が印象的だった。三年生にとっては最後のクラスマッチ。今年度の三年生の特徴でもある仲の良さが発揮され、自分のクラスの試合が終わっても他のクラスの応援に声を枯らす姿は清々しく、立派な姿であった。なお、今回のクラスマッチは、新生・生徒会役員の初めての大仕事でもあった。テスト前の忙しい時期に準備にあたってくれた生徒会、競技が円滑に進むよう見守ってくれた審判、コートやグラウンドの準備をしてくれたたくさんの仲間達に感謝し、このクラスマッチで培った仲間との絆を大切にして日々の学校生活を送ってもらいたい。

新生徒会執行部発足

六月二日（月）に行われた生徒朝会での引き継ぎ式を以て、下田隆史会長率いる平成十九年度後期生徒会執行部から平成二十年度前期生徒会執行部に仕事が引き継がれた。新生徒会執行部役員は次の通り。（紙面の都合により会長、副会長のみの紹介とする。）

会　長　小屋敷亮介（21R）
副会長　柏　昇吾（28R）
副会長　河野　眞子（14R）

新生徒会執行部は、これから学校をリードしていく二年生はもとより、入学して三ヵ月の一年生も多く、三年生が引退した今、初々しくも頼もしい顔ぶれとなっている。生徒会を中心に、生徒全員で新しい「鶴丸」を築いていきましょう。

一・二学年集団読書

五月二十六日（月）には、二年生の集団読書会が、六月二日（月）には、一年生の集団読書会がそれぞれ開かれた。

二学年の集団読書は山本周五郎の『赤ひげ診療譚』をもとに行なわれた。登場人物の「赤ひげ」や「登」の生き方から、「誰かのためになるなら自分の人生は徒労に終わってもいいという赤ひげの考え方について」や「赤ひげとの出会いから登はどのように成長したか」というテーマを立てて討議が行なわれた。またそれをきっかけとして、自分たちの生活に引き寄せ、「世の中において自分はいかなる存在であるべきか」とか「他人の役に立たなければいけない理由とは何か」といったところまで考えを深めて討議ができ、二年生にふさわしい集団読書となった。

一年生は、夏目漱石の「夢十夜」について話し合いが行われた。今回が初めての読書会ということで各クラスの委員長・副委員長は級友が書いた感想文をもとにしながら、入念に計画を立てて読書会に臨んだ。読書会では、夏目漱石の描く夢の世界からいくつかの討議の柱を立てて各ルームでじっくりと話し合い、それぞれの小話について理解を深めることが出来た。級友の意見を聞き、クラスの交流を図るという当初の目的以上のものを達成することができ、充実した読書会となった。

秋には今年度2回目の集団読書会が予定されている。この春を上回るような内容となることを期待したい。

中高連絡会

六月十一日（水）、文化館で中高連絡会が開かれた。この会は、中学校と本校の連携を深めることを目的に毎年実施されている。今年度も三十七の中学校から先生方が出席され、本校の学校紹介のビデオを視聴した後、校長挨拶、平成二十年度の入学者選抜学力検査の概要、本校の学習・進路指導についての説明と続いた。その後、各中学校と本校職員との懇談の機会があり、中学校側から卒業生の進路や在校生の近況についての質問等が多く寄せられた。

皆を見守る温かい目は至る所に存在する。自分達を支えてくれるたくさんの存在を大切に、感謝の気持ちを忘れずに毎日を過ごしていきましょう。

保健講話

六月二十六日（木）、鹿児島大学教育学部教授の大坪治彦先生を講師にお迎えし、「自分自身を知る」という演題で平成二十年度の保健講話が行なわれた。

先生は専門である臨床心理学の見地から、簡単な実験も交えながら、ストレスはあって当然、それに向き合って苦しんでいることは正常な反応であることや、ストレスを軽減するのは人と交わるのがいちばんよいこと、また、お互いに相手の状況を受け入れ認めてあげることで、相手の鏡になり、より客観的に自分を見つめることができるようになることなどをお話された。

一年生は、先だって「ストレスマネジメント」の授業を受け、「ストレスの受け止め方や対処のしかた」を学び、力を抜く方法を学んだ。緊張したり、ストレスを感じるとき、私たちの体と心は決して切り離せないことから、全身の力を抜くということが非常に大切なマネジメントとなる。

ストレス社会ともいわれる現代社会でいかにストレスと向き合い、自分の心を知ることができるかということは、重要なことだ。大坪先生のお話や授業で学んだことを自分に取り入れ、日々の生活に活用していこう。

流行性角結膜炎予防について

先日、本校で流行性角結膜炎（はやり目）が発生しました。

主な症状は、眼脂（めやに）、充血、涙眼などがあり、症状が重くなると、首のリンパ節が腫れることがあります。感染経路としては、主として手についた眼脂（めやに）からのウィルスが、その他の物につき、それに他の人がふれて、目をさわると感染するということが挙げられます。生徒の皆さんは、次のことに注意し、それらしい症状が出た場合はすぐに眼科を受診し、万一、流行性角膜炎であった場合は、学校に直ちに連絡すると同時に他への感染を防ぐために自宅で療養してください。

注意すること

1. 手を良く洗い、手で眼をこすったり顔に触れたりしない。
2. 手を洗うときは、石鹸を泡立てて使い、良く洗い流す。
3. 水道の蛇口も汚染されている可能性があるので、使う前に蛇口もよく石鹸で洗い流してから使う。
4. ハンカチ・タオルを他人と共有しない。

7月の行事予定

7　月			
1	火		
2	水		
3	木		
4	金	修学旅行前健康診断（15:00～） 2年進路講演会	
5	土	3年進研記述 ねんりんピック式典練習	
6	日	3年進研記述	
7	月	1･2年実力考査(1日目)	
8	火	1･2年実力考査(2日目)	
9	水		
10	木	学校安全の日	
11	金	中掃除	
12	土	進研模試(1･2年)	
13	日	第1回英検二次	
14	月	全体朝会	
15	火	修学旅行結団式	
16	水		2年修学旅行
17	木		
18	金		
19	土		
20	日	代ゼミ 東大プレ	
21	月	海の日，代ゼミ 東大プレ	
22	火	救命救急法講習会	夏季悠学講座
23	水	1年GO鶴セミナー	
24	木	1年GO鶴セミナー	
25	金	1年GO鶴セミナー	
26	土	悠学講座　スクールカウンセリング①	
27	日		
28	月		夏季悠学講座
29	火		
30	水	中学生日帰り体験学習	
31	木	中学生日帰り体験学習	